

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、動きや情報を提供します。

自治会のみなさん

令和2年度限り 自主防災組織活動事業費補助金のご活用ありがとうございます！

今年度、新型コロナウイルス感染予防対策関連で、自主防災組織活動支援事業補助金を、補助率100%、補助金限度額10～30万円に拡充して、自治会、自主防災組織の皆様方にご通知いたしましたところ、たいへん大きな反響をいただきました。自治会役員の皆様には、この件のために地域で会合を開いていただいたり、購入や設置、配布の段取り、補助金手続きなど、多大なお世話をおかけしております。

現在、178自治会が申請していただいています！（1月末現在）

今回の補助金は、①防災倉庫やテント、発電機、備蓄品など自治会の防災機能の向上、②マスクや消毒液の購入など新型コロナウイルス感染防止に活用、③各戸への購入品配布による防災、衛生啓発、のいずれでもご活用していただけます。1月末現在で、全市315自治会のうち、178の自治会が申請していただき、72自治会が申請をご検討いただいています。従来の補助率50%（初回のみ100%）の補助金では、最も多くて年間48件の申請でしたので、いかに多くの自治会が、今回の補助金をご活用またはご検討いただいているかわかります。

なお、申請済の自治会のうち防災用品を購入された自治会は119自治会、新型コロナウイルス感染防止用品の購入が35自治会、両方に分けて購入した自治会は24自治会となっています。

また、自治会館や倉庫など防災用品の備蓄スペースのない自治会は当初、なかなかご申請に来られませんでした。防災用品の各戸配布も可能、と御説明したところ、多くの自治会がご活用いただくに至りました。

自治会ではどんな品物を買っているの？

今回の補助金では、それぞれの自治会がそれぞれの地域住民のニーズに合った品物を購入されています。どんな品物を購入されているのか、その一例をご紹介します。

①自治会の防災機能の向上をめざしたもの

防災倉庫、投光器、カセットボンベ式発電機、ブルーシート
保存水、消火器、工具類、土のう袋、乾電池、トランシーバー



簡易トイレ、備蓄食品、給水タンク、エンジンポンプ、台車
テント、チェーンソー、コードリール、ハシゴ、クーラーBOX

- ② コロナウイルス感染防止に活用
マスク、アルコール消毒液、噴霧器、石鹼
空気清浄機、パーテーション
フェイスシールド、非接触型体温計

- ③ 各戸への購入品配布による防災、衛生啓発
防災バッグ、簡易消火器、ラジオ
LEDライト、ヘルメット、懐中電灯、マスク
アルコール消毒液



地域で防災を考えるきっかけとして期待！

「自主防災組織があっても名前だけで何も活動していない、という自治会が多いですよ」とよく言われます。いざ災害で地域がどのくらい動いてもらえるか、ということが今後の課題となっています。このことが今回の補助金で解決するというわけではありませんが、これをきっかけに集会や会合、クリーンキャンペーンなどで、防災についてみなさんで考える機会を設けていただいたことは、私共にとっても心強いことでした。

現在、補助金の申請をご検討中の自治会におかれましても、ぜひともこの機会を地域で防災を考える機会にさせていただけたらと存じます。

また、残念ながら今回、補助金申請を見送られた自治会でも、その経過をお聞きしたところ、何らかの話し合いの上でそのことを決められたところが多かったように思います。重ね重ね、自治会役員の皆様には感謝を申し上げます。

地域コミュニティの衰退が現代の課題となっています。私共も地域の皆様との会話の中でそのことを強く感じています。そんな中、防災防犯は地域社会における数少ない共通課題と思います。たいへん難しいこととは存じますが、私共も防災という面から皆様のお力となっていければと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

自治会などの防災出前講座依頼も受付中！

少人数でも訪問します。市民安全課までご相談ください

このニュースは、市民安全課、市内の各支所、矢田コミュニティ会館、南部公民館で配布しています。また、市のHPでもご覧になれます

[大和郡山防災ニュース](#) 🔍 検索

消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ！』をご覧ください

[大和郡山市消防団へようこそ](#) 🔍 検索

発行人 市役所市民安全課